

学力向上に効果のある取組事例

杵築市立護江小学校

校内研修などによる授業改善

取組の具体①

校内研修による全教職員の授業改善へ

昨年度の取組で効果的であったもの

- 説明シートの活用
- 考えるための技法(思考ツール)の活用
- 児童の対話の工夫

- ・ペア活動
- ・中心発問
- ・話し合いの柱
- ・視覚的な教具の活用

○視点を設けた振り返り

- ・友だちの考えでよいと思ったこと
- ・自分の考えと似ている(違う)ところなど

参考 〈振り返りを向上させるための5つのポイント、13の視点〉
(大分県教育センター教科研修部から引用)

<算数科における説明シート>

すじ道のあるせつめいを考えよう

- ①方針を言う。
 - ・最初に～を求めます。
- ②どの数を使うか言う。
 - ・()は■で、()は▲です。
 - ・ことばの式を使う。
- ③式を言う。
 - ・■+▲=●です。
- ④答えを言う。
 - ・だから答えは●です。

取組の具体②

○互見授業の取り組み

・一人一回以上の互見授業を行う。その際、授業観察シートを使い、授業改善テーマに沿った観点から見取るとともに板書を写真に残しておくようにする。

・授業観察シートでは、見取りを5段階で評価した。さらに、指導(output)と被指導(outcome)の関係を明確にしたコメント記入による評価で実施している。

・板書の写真を使いながら、「板書の交流」を行い、互見授業ごとに交流している。

授業観察シート

杵築市立護江小学校 学校評価の4点セットから
2021年度 互見授業観察シート(学期版)

取組内容① 振り返りとして「考えるための技法」や「説明シート」を活用して授業を行い、1日1回以上、授業の考えを深めること。
取組内容② 授業を單元ごととして学習の過程を協議した履修を踏まえて毎日1回、振り返りをする。

月	日()	曜日	授業者()	学生()	教科()
ねらい・課題					
まとめ					
主な学習活動					
【観察の視点(領域)で評価(5段階)する】					
学習過程	教師の指導(取組)	規程	子どもの状況	見取	コメント
めあて	子どもが学習の精通しなから、主体的に取り組むための誘導や課題が設定されている。		めあてや課題を整理しながら受け止め、その達成や解決に向けて意欲を高めている。		
問題解決的な展開	子どもの学習や考えを促す。課題の文化的な視点をもち、解決に向けた具体的な学習活動を設定している。		学習や考え、みんなに伝えたいことを考えるための視点や板書シート等を活用して課題等を一つ一つ解決している。		
対人的な人間関係	双方向の対話(ペア・グループ・全班)により、互いの考えを認め合い、自分の考えを自分のため、まとめられている。		学習の過程で、自分らの考えで話し、伝え合おうとしている。		
振り返り	ねらいに沿って条件(構成、学習)を設定したり、視点を身当たりして振り返りを設定している。		必要用語等を用いてみんなと自分の考えを交流している。友だちの意見を参考にしている。		
習得する子への配慮	学習過程を考えた指示や発問を工夫している。		指示を正確に受け、学習活動に取り組もうとしている。		
【その他】	本時でよかったこと又は伝えておきたいこと				

取組の具体③

○研究授業後の取組

【校内研の振り返り】

提案授業の取り組みについて、本校の授業改善テーマに沿った焦点化した協議を行い、今後の指導についてまとめる。

【協議の視点】

- ①新しく学んだ言葉やキーワード等を使った振り返り
- ②「主張・根拠・理由」を踏まえた考えの説明の仕方

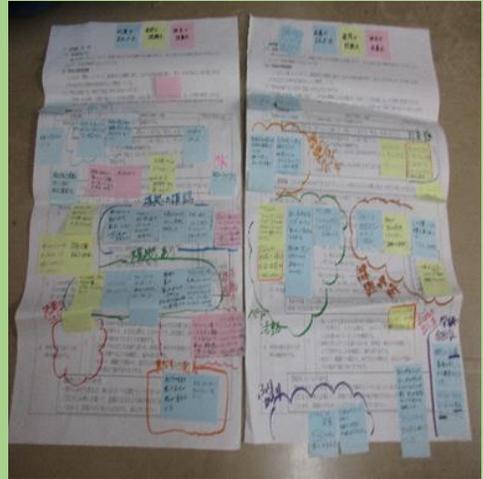
研究協議の様子

付箋

成果や
良かった点

疑問や
問題点

助言や
改善点



取組の具体④

○全教職員による学力調査分析 (市・県・全国)

- ①学年の担当よりできていなかった問題について説明
- ②全員で問題を解き、各自で課題を把握
- ③課題と改善策を共有
- ④全職員で改善策を共通理解し、全校で学力向上の取組を推進(どの学年でも当事者意識を持つ)

★授業以外の取組

- ・チャレンジタイムの活用
- ・家庭学習で個に応じた文章問題の取組

○振り返りの視点

- ①「めあて」につながる「振り返り」
- ② 友だちとの対話
- ③自分の考え

のこり自分 おわりガエル

①めあて・課題
とつなげる
「〇〇すると、
〜〜が
分かった。」



②友だちの考え
とつなげる
「〇〇さんの
考えで、〜〜
と属った。」

③これからの自分とつなげる
「これから(次の授業では)、〜〜していきたい。」